

日常のお手入れ

紙幣識別機（ビルバリ）は、紙幣、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると、紙幣の受入率低下、札詰まり等の異常が発生し、性能が維持できなくなります。性能を長く維持するために、1 ～ 3 ヶ月に 1 度定期的に清掃してください。

（取り付けた機器側の構造、設置場所により清掃間隔は異なります）

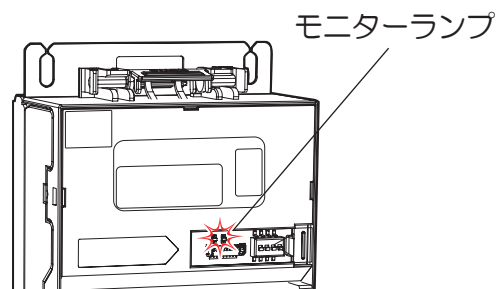


【注意】

日常のお手入れが終わりましたら、必ず動作テストを行い、異常がないのを確認してください。確認をしないと異常を発見出来ず、誤動作や故障の原因となります。

(1) モニターランプの確認

モニターランプを確認することにより、紙幣識別機（ビルバリ）の状態が確認出来ます。詳細はオンラインマニュアルのモニターランプ表示機能を参照してください。



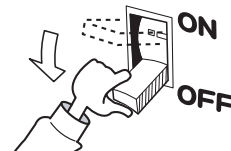
(2) 紙幣通路部、及び識別センサーの清掃



【注意】

日常のお手入れをするときは、下記の点に注意してください。誤動作や故障の原因となります。

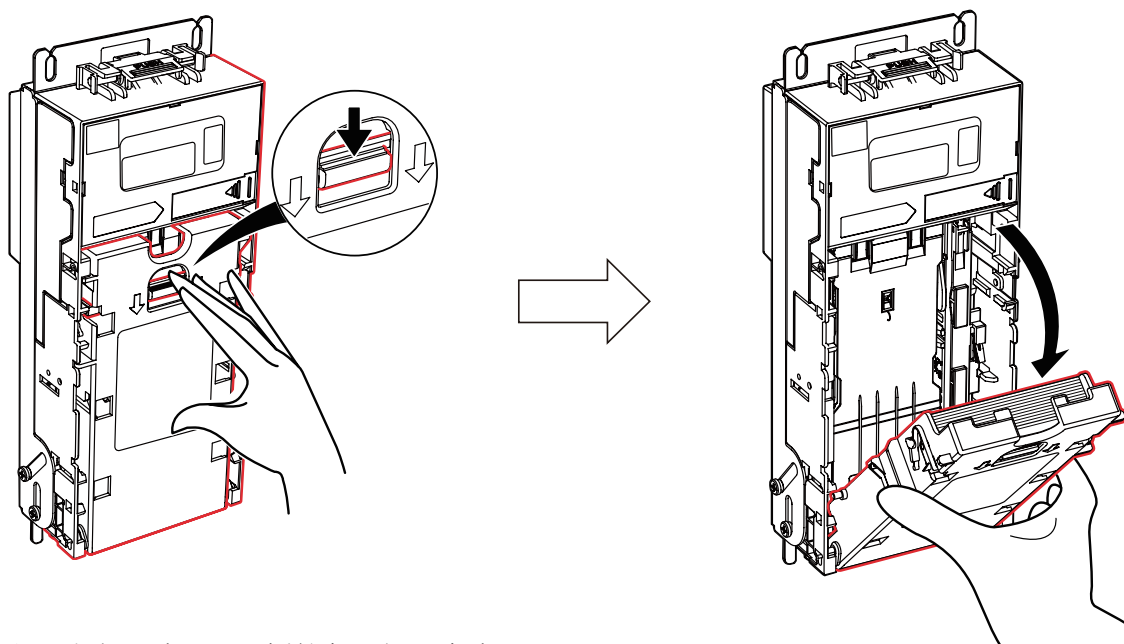
- 必ず機器側の電源が切断されていることを確認してください。



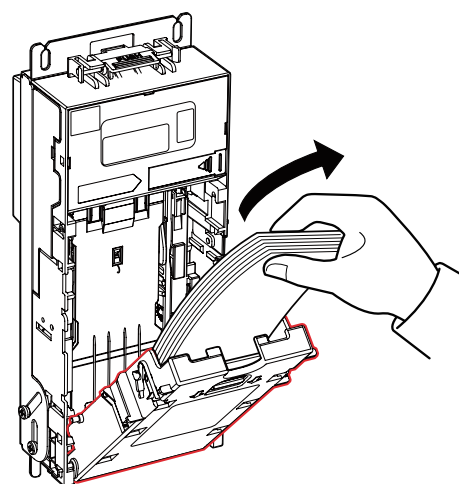
- 本体部やスタッカを開けた時、雨水や異物が入らないように注意してください。
- 本体部は“パチン”と音がするまで確実に閉じてください。誤動作や故障の原因となります。
- 本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布や綿棒などで乾拭きしてください。
- 光センサーは発光部と受光部が対になっていますので、必ず両方清掃してください。
- 乾拭きで汚れが取りにくい時は、柔らかい布や綿棒などに無水エタノールを含ませてください。
- 搬送ベルトの清掃には、無水エタノールは絶対に使用せず、必ず柔らかい布や綿棒などで乾拭きしてください。
- 酸性、アルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー系の溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変形や変色、故障の原因になります。



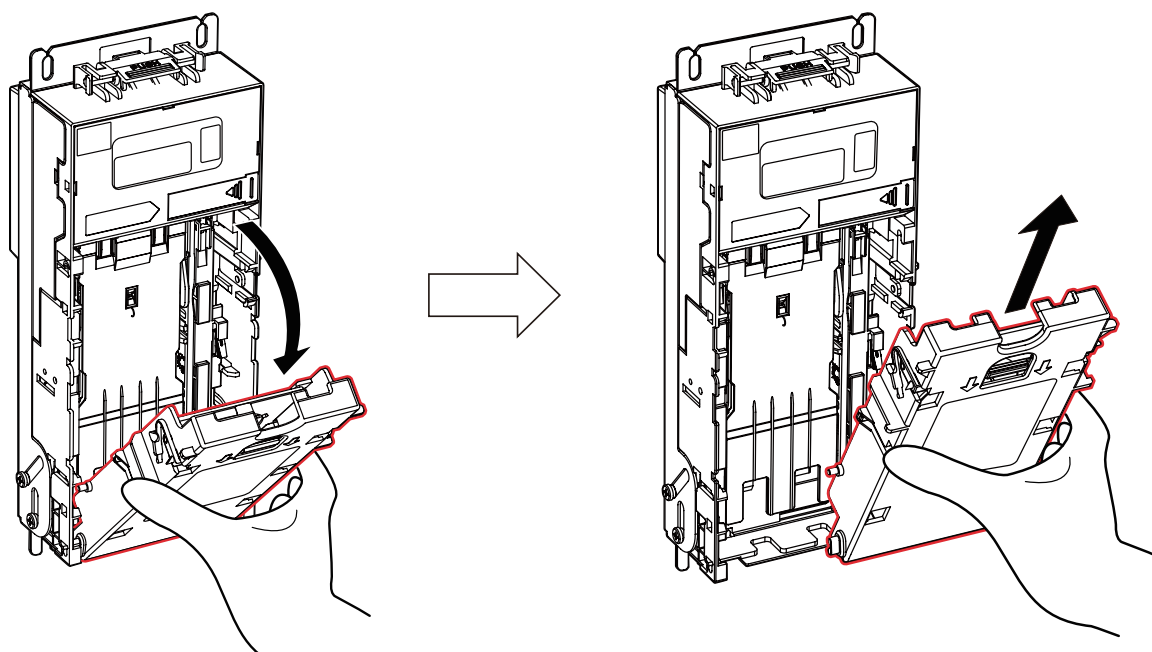
① スタッカラッチを押し下げ、スタッカを開きます。



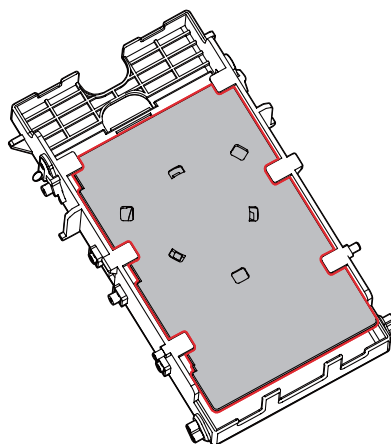
② スタッカからすべての紙幣を回収します。



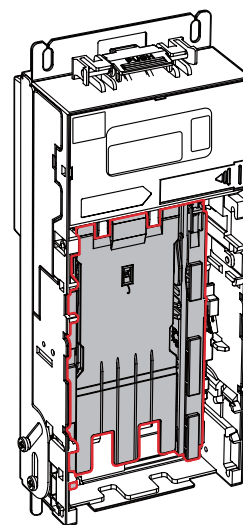
③ 本体部からスタッカを取り外します。この時紙幣や異物が詰まっていた場合は取り除いてください。



④ スタッカのスタックプレート（アミ部分）を清掃します。



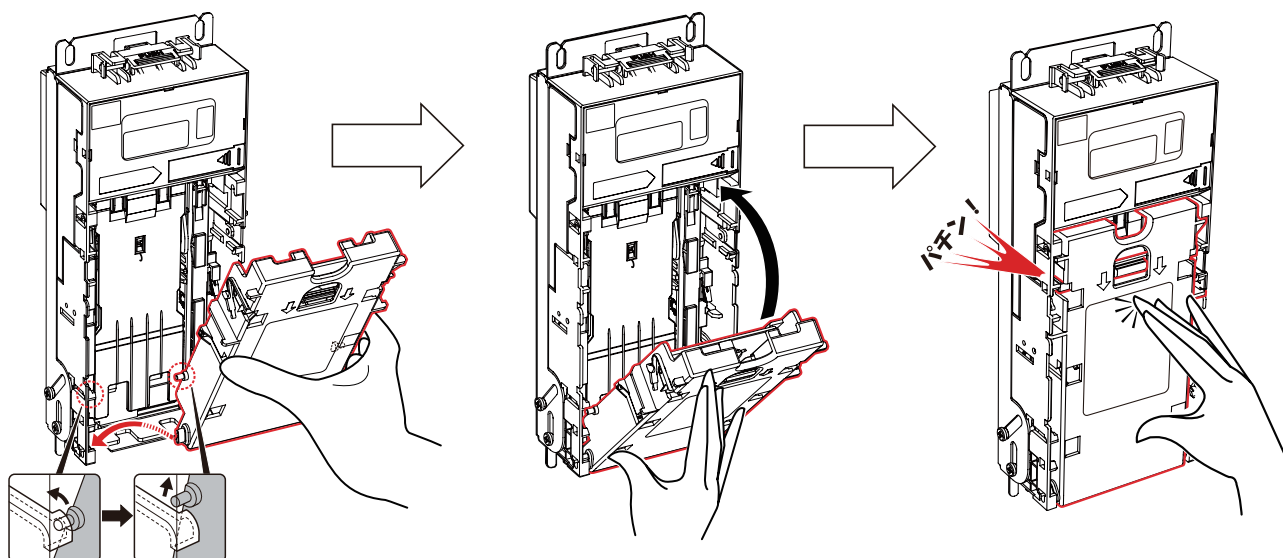
⑤ 札通路部（アミ部分）を清掃します。



【注意】

セーフティスイッチを破損しないように、十分注意しながら清掃してください。故障の原因となります。

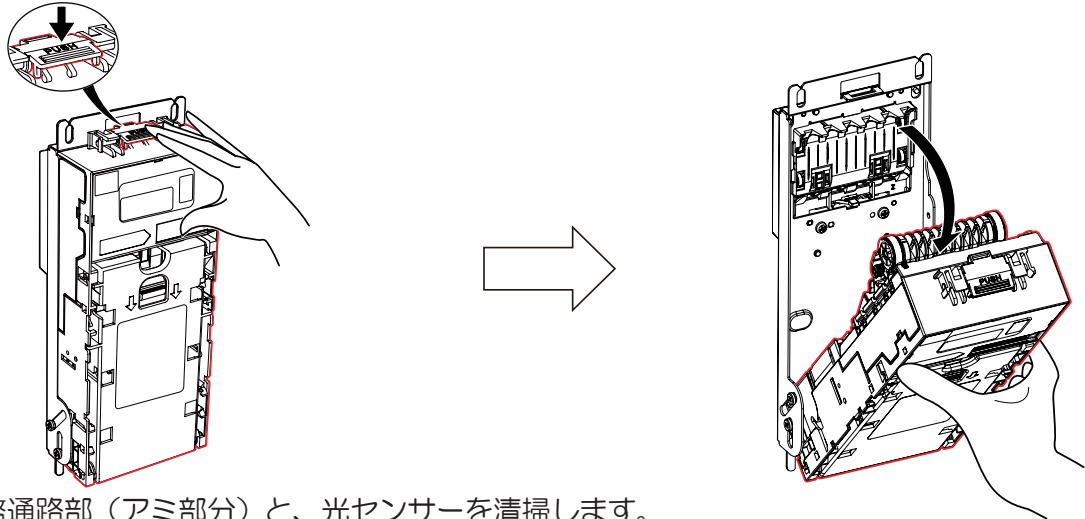
⑥ スタッカを本体部に取り付け、“パチン”と音がするまで確実に閉じます。



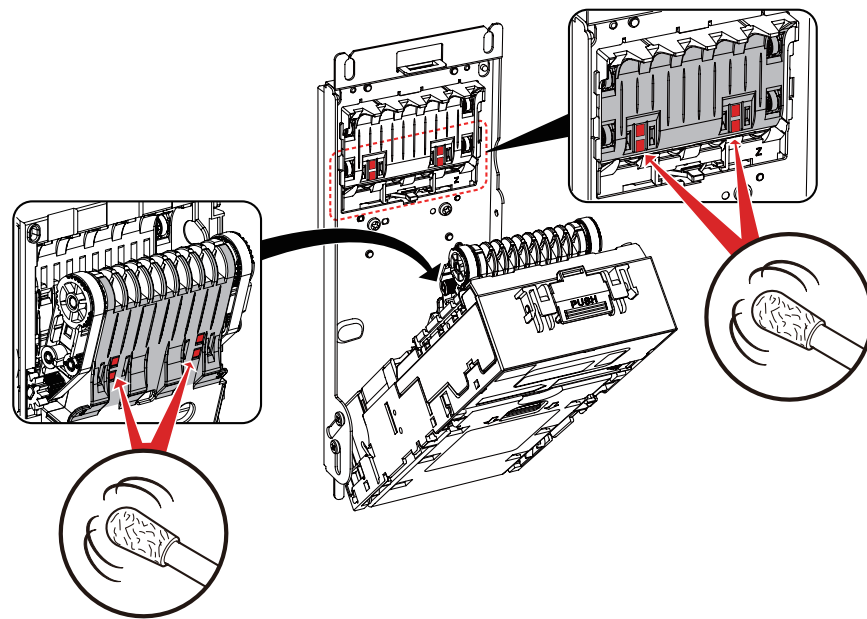
【注意】

スタッカは“パチン”と音がするまで確実に閉じてください。誤動作や故障の原因となります。

- ⑦ メインラッチを押し下げ、本体部を開きます。この時紙幣や異物が詰まっていた場合は取り除いてください。



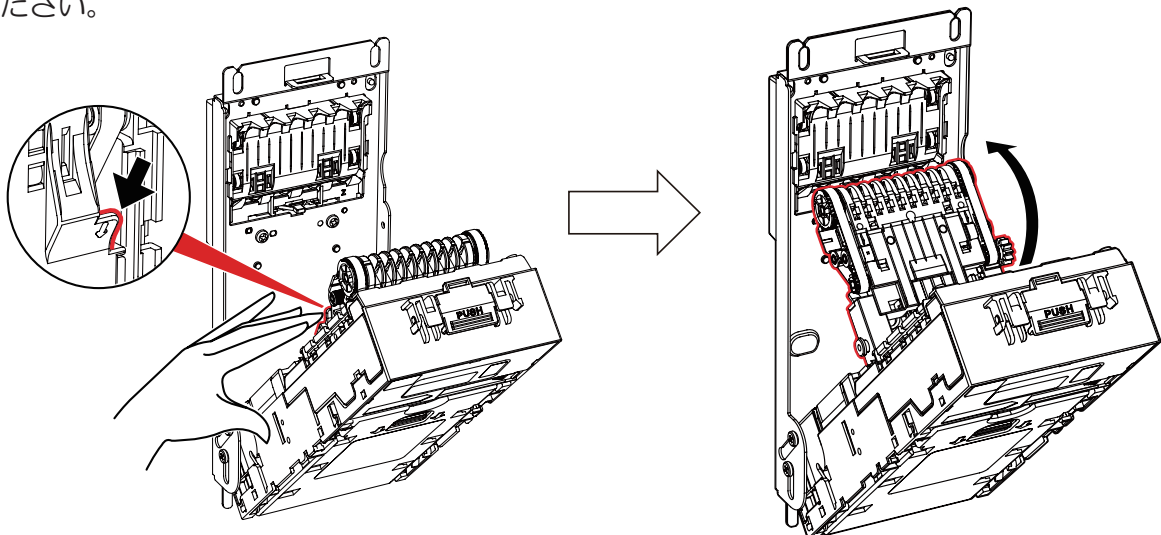
- ⑧ 紙幣通路部（アミ部分）と、光センサーを清掃します。



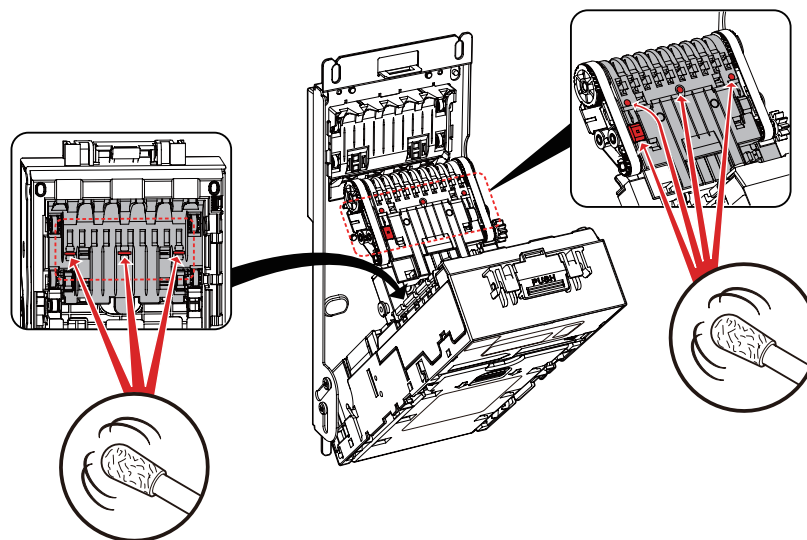
【注意】

光センサーにキズを付けないように、十分注意しながら清掃してください。誤動作や故障の原因となります。

- ⑨ レバーをつまみ識別シュートを開きます。この時紙幣や異物が詰まっていた場合は取り除いてください。



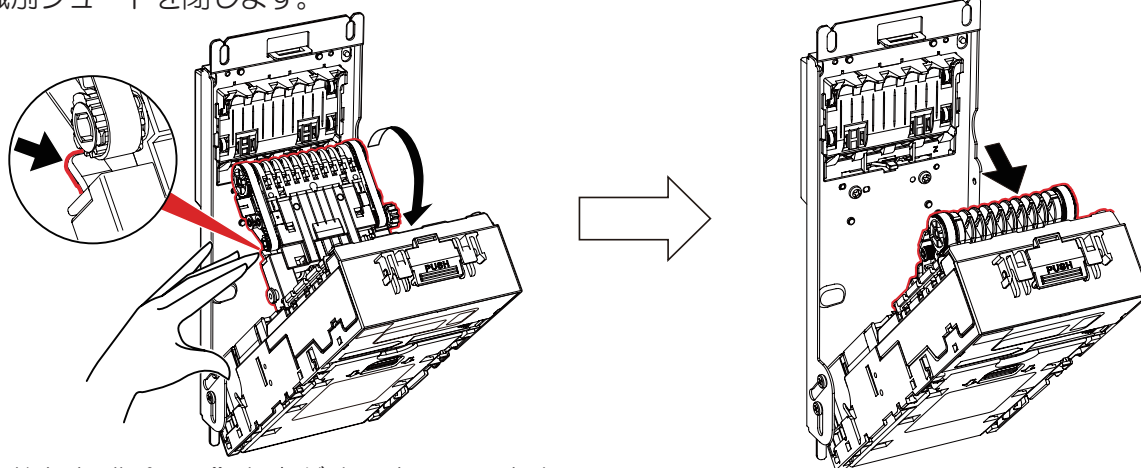
⑩ 紙幣通路部（アミ部分）と、光センサー、磁気センサーを清掃します。



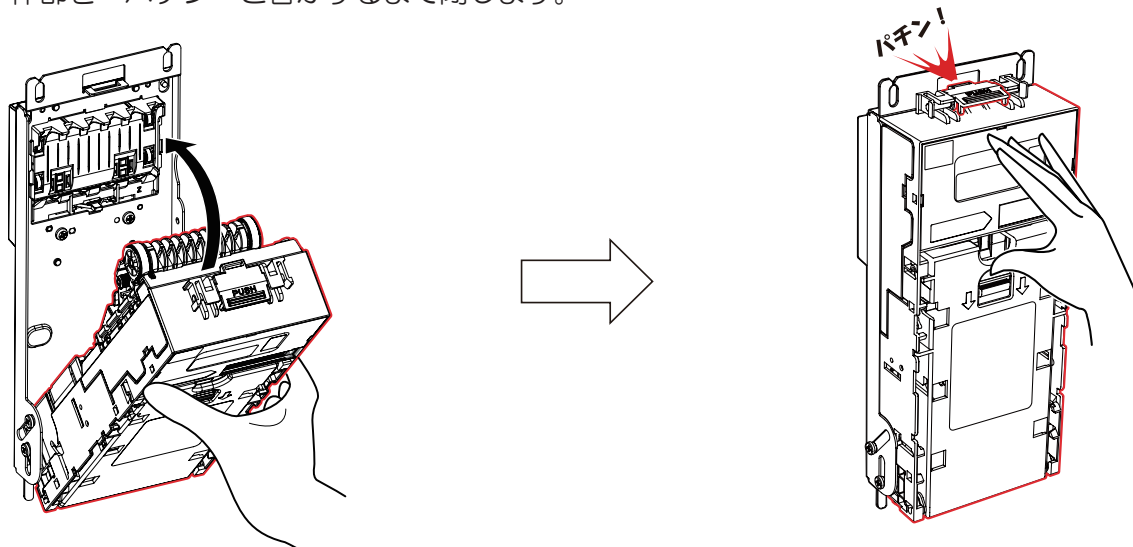
【注意】

光センサーにキズを付けないように、十分注意しながら清掃してください。誤動作や故障の原因となります。

⑪ 識別シュートを閉じます。



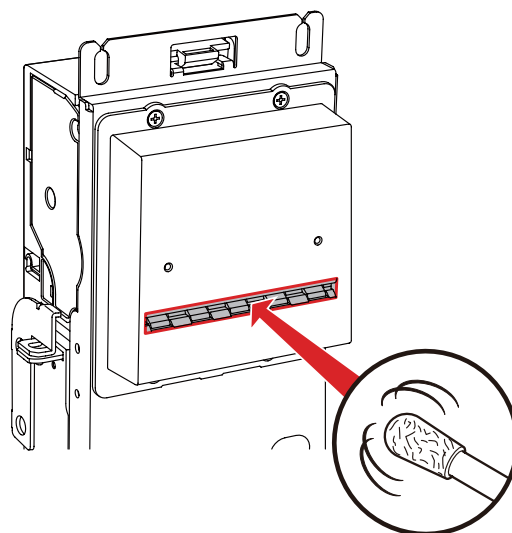
⑫ 本体部を“パチン”と音がするまで閉じます。



【注意】

- 本体部を閉じる時は、指を挟まないように十分注意して作業してください。指を挟みけがをする恐れがあります。
- 本体部は“パチン”と音がするまで確実に閉じてください。誤動作や故障の原因となります。

⑬ 紙幣挿入口を綿棒などで清掃します。



⑭ 必ず動作テストを行ってください。

(3) 搬送ベルト交換方法

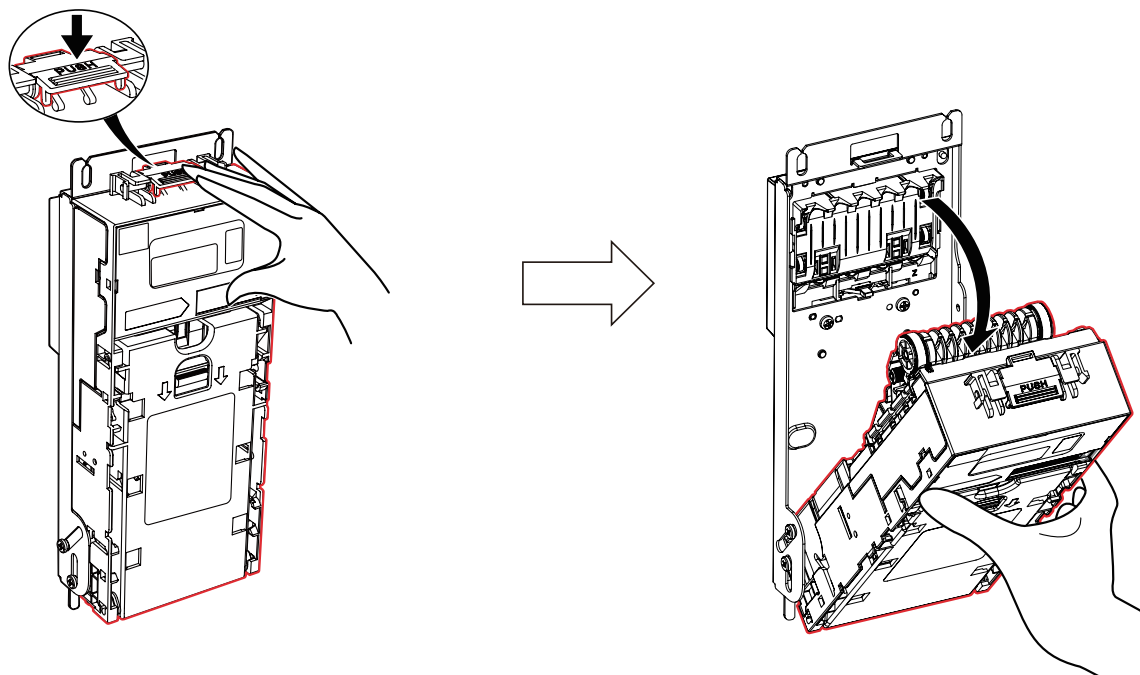
搬送ベルトは汚れ、摩耗等により消耗し、長い間使用しますと経年劣化しますので消耗品です。交換しないと紙幣の受入率低下、札詰まり等の故障が発生する可能性がありますので、定期的、または必要に応じて交換してください。設置場所の環境、使用頻度、取り付けた機器側の構造により交換する期間は異なります。搬送ベルト交換は、工具を使用せずに簡単に交換できます。



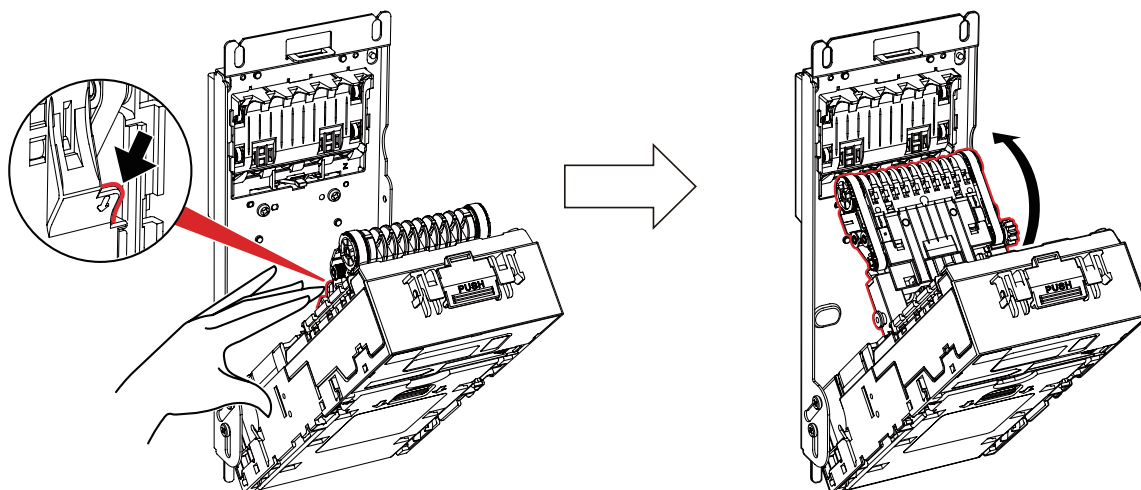
【注意】

- 搬送ベルトの交換は、必ず機器側の電源が切断されていることを確認してから行ってください。誤動作や故障の原因となります。
- 本体部を開けた時、雨水や異物が入らないように注意してください。誤動作や故障の原因となります。

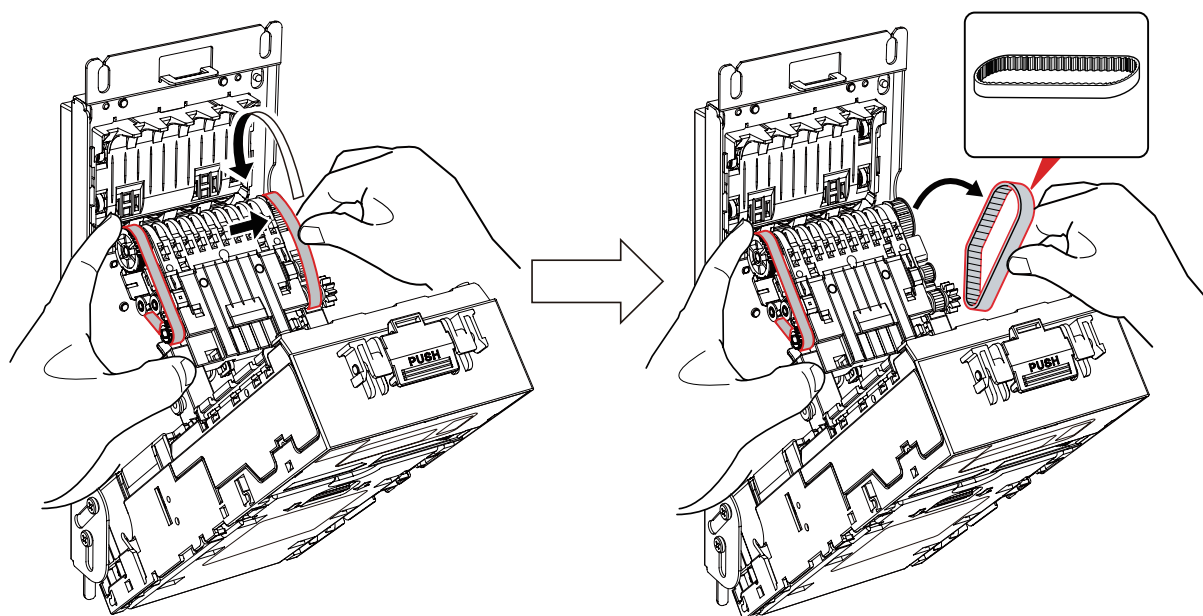
① メインラッチを押し下げ、本体部を開きます。



② レバーをつまみ識別シュートを開きます。



③ 右の搬送ベルトの上部分をつまみ廻しながらベルトを外し、下のギヤ部からベルトを取り外します。



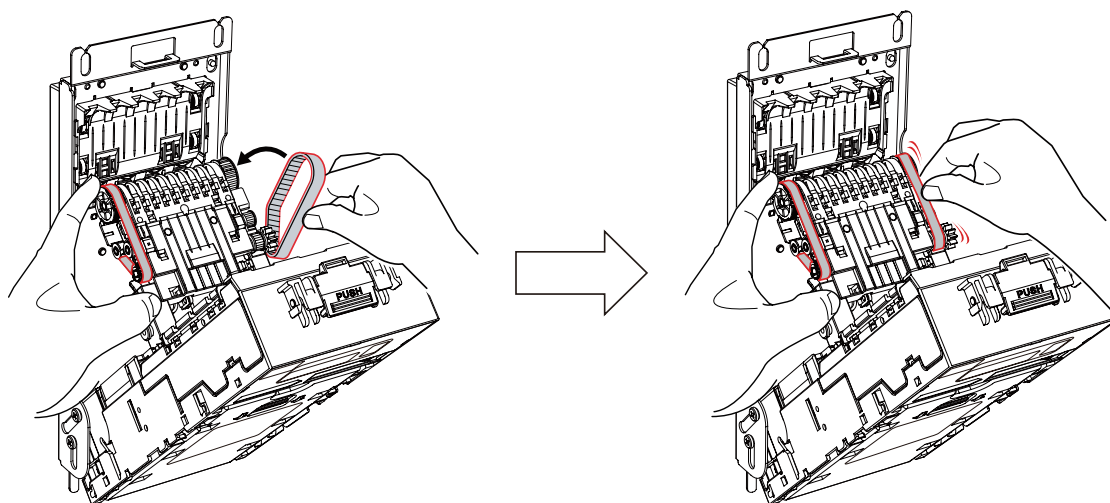
④ 左の搬送ベルトも同じ手順で取り外します。



【注意】

- 各ローラーを破損しないように、十分注意しながら搬送ベルトを外してください。故障の原因となります。
- 搬送ベルトは 2 本同時に交換してください。1 本のみ交換は誤動作や故障の原因となります。

- ⑤ 新しい NBX-R600 シリーズ用の搬送ベルトを右下のギヤ部に取り付け、廻しながら上のギヤ部に取り付けます。



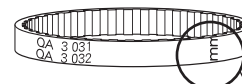
【注意】

- 各ローラーを破損しないように、十分注意しながら搬送ベルトを取り付けてください。故障の原因となります。
- 搬送ベルトは NBX-R600 シリーズ専用品を使用してください。NBX-1200 用ベルトを使用すると誤動作や故障の原因となります。

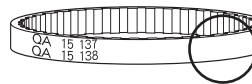
● ベルトの見分け方

NBX-1200 で使用しているベルトは同寸法ですが材質が違う為使用出来ません。

NBX-R600 用ベルト



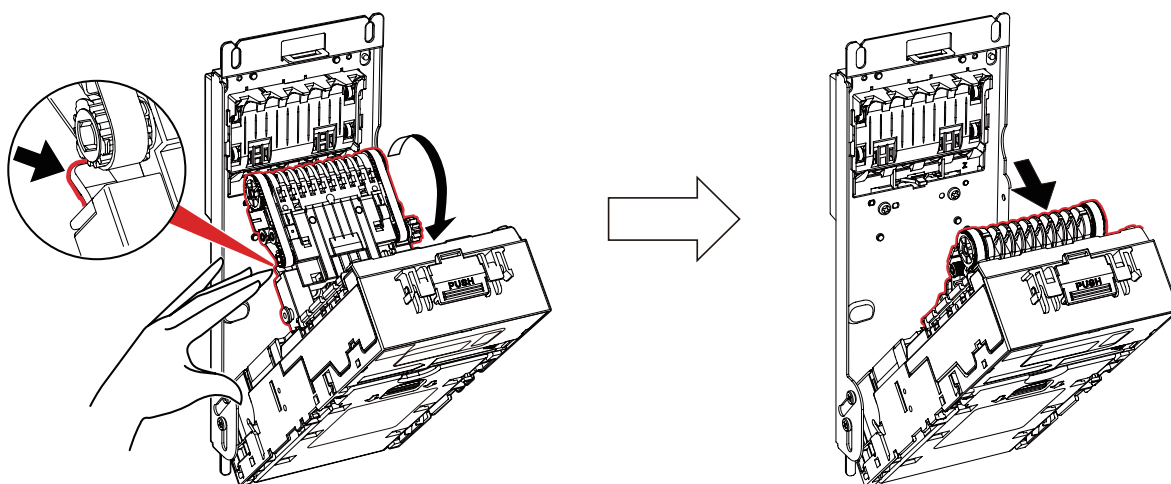
NBX-1200 用ベルト



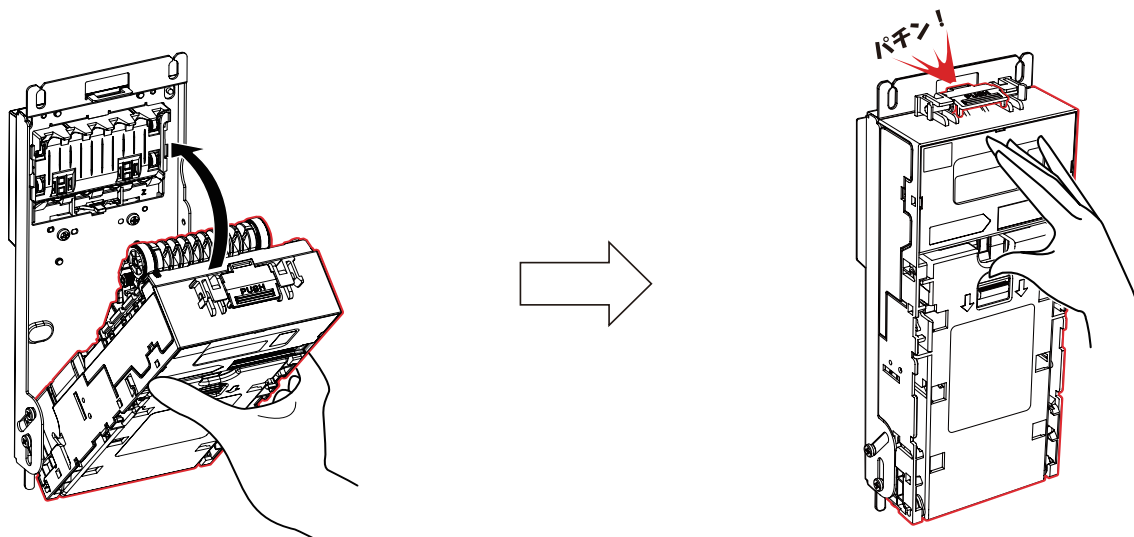
文字の有無

- ⑥ 左の搬送ベルトを同じ手順で取り付けます。

- ⑦ 識別シュートを閉じます。



⑧ 本体部を“パチン”と音がするまで閉じます。



【注意】

- 本体部を閉じる時は、指を挟まないように十分注意して作業してください。指を挟みけがをする恐れがあります。
- 本体部は“パチン”と音がするまで確実に閉じてください。誤動作や故障の原因となります。

⑨ 必ず動作テストを行ってください。